

登米高の志教育

「かかわる」「もとめる」「はたす」
～ 夢ある限り挑戦！ ～

令和3年度 第3号
令和4年3月18日発行
企画・編集：志教育担当

今年度の活動を振り返って（3）

前号では総合的な探究の時間や進路行事について振り返りましたが、総合的な探究の時間は行ったことも多かったので、今回はその続きです。

かかわる，もとめる

1 職業人インタビュー（1年生）

登米高校の商業科は昭和45（1970）年に2学級で設置され、平成29（2017）年3月に閉科しました。商業科では簿記や情報処理などの科目に加えて、3年生が6月に「インターンシップ」を実施していました。閉科後、商業科が築き上げてきた実績を引き継ぎ、普通科（1年生対象）でのインターンシップを平成29年度から実施してきました。市内30程度の事業所にご協力いただいております。ここ2年間は新型コロナウイルス感染拡大のため受入可能な事業所の確保が難しく、参加する生徒の感染リスク軽減も考慮して実施を見合わせました。

今年度はその代替企画として1月26日に「職業人インタビュー」を実施しました。市内外20事業所21名のみなさんに協力いただきました。初めての実施にもかかわらず協力いただいた事業所の皆様に感謝いたします。事前学習で事業所の概要を調べ、質問を作成しました。当日はオンラインでの開催となりましたが、一部屋に3グループが入り、順に3つの事業所にインタビューしました。事後学習ではインタビューの回答を報告書にまとめました。（A棟1階廊下に掲示）



生徒の感想には

- ・働くことは自分のためだけだと思っていたが、地域のためになることであり、周りの人々を支えることにもつながっているのだと思った。
- ・働くということは意外と楽しいものかもしれない。
- ・責任ややりがいを感じて仕事をしている。
- ・一人でできる仕事はないということが印象に残った。
- ・自分の周りの人にどれだけ支えられているかを考える。
- ・大切なことは充実感を得ること
- ・挨拶、言葉遣い、礼儀など当たり前のことを当たり前にする。

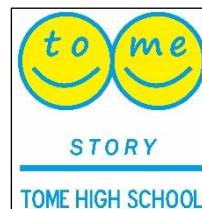
令和3年度吉野登米高等学校174号
格納庫1「職業インタビュー」

報告書

メンバー	
報告事項とその意味、ポイントで読みとること	
① 働くことの大切さ	
② 地域貢献の大切さ	
③ 働くことの楽しさ	
④ 責任ややりがいを感じて仕事をしていること	
⑤ 一人でできる仕事はないということ	
⑥ 自分の周りの人にどれだけ支えられているかを考えること	
⑦ 大切なことは充実感を得ること	
⑧ 挨拶、言葉遣い、礼儀など当たり前のことを当たり前にする	

今年度は中止となったインターンシップでしたが、以前実習生を受け入れていただいていた事業所の方とお話しした際に、「実は、インターンシップの受け入れは社員のためにもなるんです。社員が自分の仕事を見直し、3日間とは言え実習生にどのように伝えれば効率的に取り組んでもらえるのかを通して日頃の業務を考えていくきっかけにもなるんです。」と話していただきました。意外かもしれませんが、インターンシップの実施は地域全体で取り組むことでキャリアを見直すきっかけにもなっていたようです。職業人インタビューを通して働くことや仕事についての考えがより深まることを期待します。

Dream Challenge Plan 大解剖 (その1)



学習指導ストーリー よりよい生き方を「もとめる」

この部分は主に教員側がどのように学習指導して学校を運営していくかということが語られる部分です。少しだけですが内容をひも解いてみます。

1 授業改善による「分かる授業」の展開と学力向上

全国的に「主体的・対話的で深い学び」ということが言われています。受け身の学びから能動的な学びへの切り替えが大切になります。毎日の授業が勝負です。

2 自主学習する力の養成と家庭学習習慣の確立、部活動との両立

家庭学習を充実させ、検定試験や資格の取得に向けて学習を進める。

※ 家庭学習 「課題があるから」というのも多いかもしれませんが、基本は自学自習です。「学習開始時間、就寝時間、起床時間の3つを固定しましょう」とよく言われます。

※ 検定・資格 英語に関する検定結果は一部の大学では英語の試験と同様に扱われることがあります(詳細は各大学等の募集要項を確認)。「実用英語技能検定」は本校でも1次試験の受験が可能です。1・2年生は10月に全員受験です。日本漢字能力検定も10月に1・2年生全員受験です。その他に、商業科(簿記、情報処理、ビジネス文書、珠算電卓)や家庭科(被服製作(和・洋)、食物調理、保育)の検定もあります。

※ 部活動との両立 まずは、授業に集中しましょう。疲れてしまって家庭学習ができない状況もあり得るかと思えます。ゆえに、毎日固定して学習することが効果的になります。習慣にしていましましょう。

3 教育活動の点検

秋ごろに「学校評価」を行っています。学校運営について、生徒、保護者、教員の目線から点検しています。その結果、「なぜこの評価項目では数値が下がってしまったのか」を検討し、「どのようにすれば改善できるのか」を考えて実践しています。授業評価も年に2回行って改善に努めています。「もっと魅力ある学校」にしていくには生徒のみなさんの意見が欠かせませんし、その声を大切にしていける必要があると思えます。

跋 恥ずかしいかぎりですが「分かる授業」と言われると、努力をしていますがはたしてそうなっているものか、わかりやすく伝えられていないことも多いだろう…と冷や汗ものです。毎回の授業評価をみなさんが真剣に書いてくれるからこそ、改善できるものだと思います。みなさんに感謝です。(文責 志教育担当)